

キャラクター名
ラズリ・ラズマタズ

プレイヤー名

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	踊り子	性別	M	年齢	19
冒険者Lv	5	経歴	B-1-6 かつて信頼できる友人がいた		
経験点	0		C-1-6 純潔である D-2-1 かつて大嫌いだっものが今は大好き (IB41)		

技	10	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	11	2		23 + 1	4
体	6	敏捷度	11			21 + 1	3
		筋力	8	1		15	2
心	5	生命力	6	2		14	2
		知力	5			10	1
		精神力	10	1		16	2

技能	Lv.	技能	Lv.
スカウト	2		
エンハンサー	2		
バトルダンサー	5		

戦闘特技			
武器習熟A/ソード	1-281p		p
斬り返し	1-286p		p
両手利き	1-283p		p
双撃	1-280p		p
			p
			p
			p
			p
			p
			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術			
チックチック			
キャッツアイ			

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	ポイントガード		1	1	0
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	バトルダンサー	合計値		9	0

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
セパレイトソード <small>BL34 1H形態と2H形態を持ち、【キルガリー-双刃戦舞闘技】秘伝を使用できる</small>	1H	15		2d+ 9	10	8	20										
セパレイトソード <small>同上</small>	2H	15		2d+ 9	10	8	30										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 _m	22 _m	66 _m	2d+ 9	0	29

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	0/X	2d+	5	16

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭	
耳	
顔	
首	
背中	
右手	巧みの指輪 ET145
腰	
足	
その他	

装備品	説明
左手	俊足の指輪 ET145

<p>— その他メモ —</p> <p>—ラズリ・ラズマタズ (Lazuli Razzmatazz) — 踊り子の青年。“砂漠城塞”ラージャハ帝国出身。 両親は揃って「男子たるもの武の道に一生を捧ぐべし」という考えで、ラズリは物心つく前から【キルガリー-双刃戦舞闘技】(⇒『BL』18頁)の武道場に放り込まれた。本人の意志とは関係なく武芸を叩き込まれたが、なまじ才があったばかりに将来を有望視され、指導に(望んでもいない)熱を入れられる悪循環に陥っていた。ラズリは武芸の稽古が気に食わなかったというよりも、それを強制されることを嫌厭していたといったほうがよいかも知れない。同じ武道場の門下にいた同年代のリカントの少年が、唯一の気の置けない友人であった。 ラズリが本当に興味を寄せていたものは、舞踊。一度友人に誘われて“大舞台”マカジャハット王国に親に行った舞踊が目には焼きついて離れず、永いこと憧れを抱いていた。12歳の頃、親と師範に想いを打ち明けたところ、相当揉めたあとで「師範に一刀でも入れられたら家を出ることを許す」ということになり、ラズリは辛くもこれを達成した。友人はラズリとの手合わせが何よりも好きだったから本心では引き留めたいと思っていたが、ラズリの想いをずっと知っていたからこそ彼を祝福して送り出したのだった。 故郷を離れたラズリがマカジャハット王国で働きはじめた場所は、劇場ではなく闘技場であった。あらゆる芸術の本場であるこの国は、未</p>	<p>自動失敗 チェック</p> <p>□□□□⑤</p> <p>□□□□⑩</p> <p>□□□□⑱</p> <p>□□□□⑳</p> <p>□□□□㉑</p> <p>□□□□㉒</p> <p>□□□□㉓</p> <p>□□□□㉔</p> <p>□□□□㉕</p>
---	---

